

2021. 9 日本建築学会大会 学術講演会

世帯内単身者と親の家の役割 に関する研究

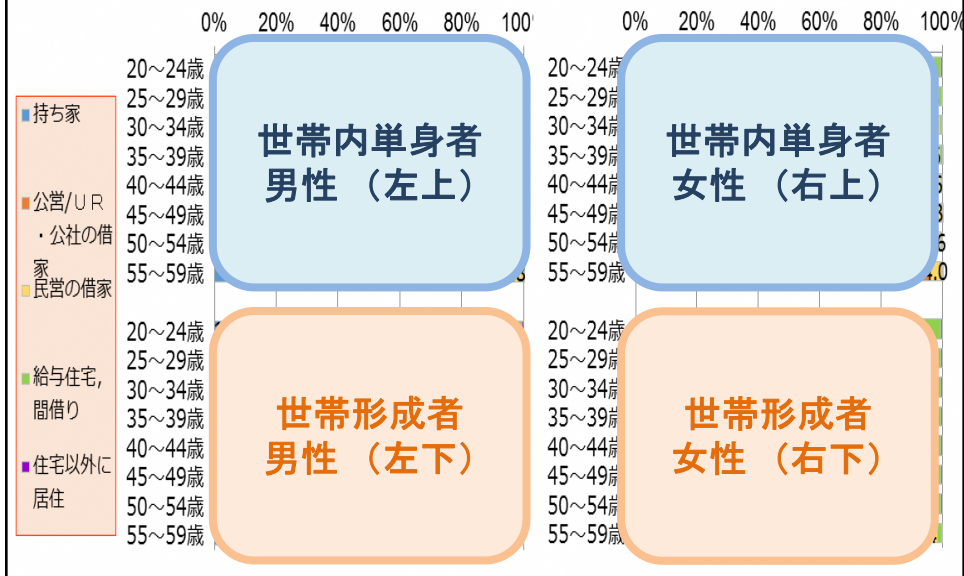
フリーランス（修士・学術） 金森 彩夏
神戸大学大学院 人間発達環境学研究科（教授・学博） 平山 洋介

2. 統計分析

- **資料：** 国勢調査公表データ、
国勢調査個票データ(2015年)
- **分析の特徴**
 1. **個人単位分析**（平山、2008）の手法を導入
世帯主ではなく、子個人の状況を見る
 2. **男女別、年齢別**にみる
 3. **世帯形成者グループとの比較**
＝有配偶かつ、続き柄が世帯主または世帯主の配偶者を指す
- **具体的な項目**
 1. 世帯内単身者グループの規模やその推移
 2. 住まいや就労状況

2. 統計分析結果 住宅所有の状況

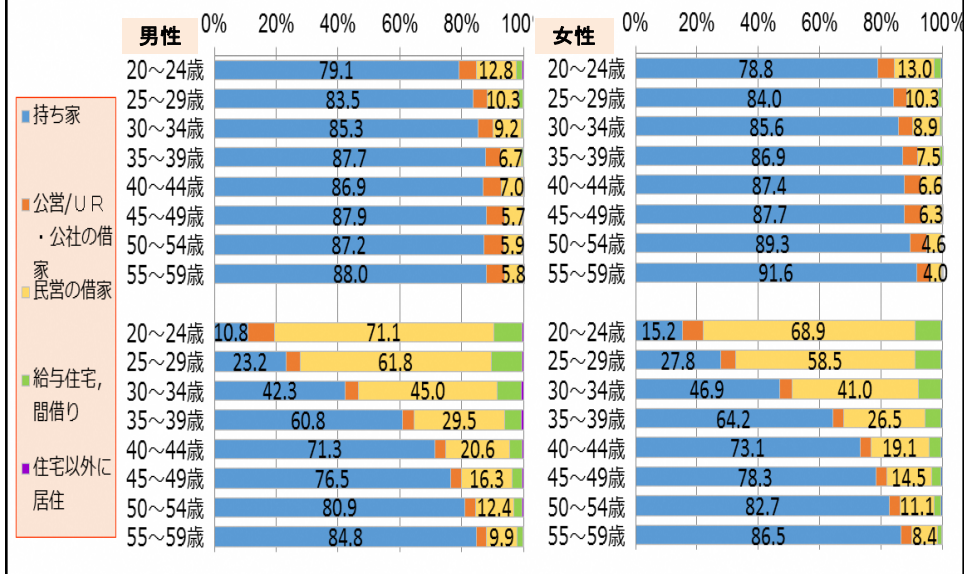
男女年齢別、住宅所有形態の構成比（世帯形成者GPとの比較）



2. 統計分析結果 住宅所有の状況

男女年齢別、住宅所有形態の構成比

(独)統計センターより提供を受けた平成27年国勢調査の匿名データをもとに、独自作成



2. 統計分析結果 住宅所有の状況

世帯内単身者：年齢によらず、持ち家住まいが8割
 ←その多くが、親の持ち家に住む可能性

